

記入例

令和6年度 市民企画講座企画書

酒田市教育委員会社会教育課長 あて

令和 年 月 日

下記のとおり提出します。

氏名 酒田 太郎

ふりがな 氏名	さかた たろう 酒田 太郎	生年月日 明・大・昭・平 30年 1月 1日	電話番号 E-mail	自宅 24-0000 携帯 090-0000-0000	FAX
住所	〒998-0034 酒田市中心西町2-59		職業	無職	生涯学習 指導者等 登録の有 無 有・ <input checked="" type="radio"/> 無
今回の企画内容に係る免許・資格・経歴・指導歴(最新の情報を記入してください。)	元建具職人 DIYアドバイザー資格あり				

<p>1 講座名及びテーマ 「やってみよう!日曜大工教室」</p> <p>2 対象者、想定人数 酒田市在住の20歳以上で、日曜大工初心者・未経験者。最大20名。</p> <p>3 ねらい(ニーズ、年代的な課題解決) 団塊世代の大量退職を迎えるにあたり、退職後の家庭での居場所。生きがいを見つけるとともに、地域社会の中でも日曜大工という技能を生かすことにより、地域への参加のきっかけとなることが期待できる。</p> <p>4 いつ(時期、時間、何回の開催) 10月から隔週、金曜日の午後7時～9時。全4回程度。</p>	<p>5 必要経費 (教材費、材料費が必要な場合は1人当たりの総額を記入してください。) 材料費一人3,000円 のこぎり、かなづちは各受講者が準備。</p> <p>6 効果予測 基本的な日曜大工の技能を身に付け、それぞれの家庭や地域で生かすことが見込まれる。</p> <p>7 募集方法 酒田市広報(9月1日号)などに掲載して募集。 総合文化センター掲示板などにポスターを掲示。</p> <p>8 その他 先着制で申し込みを受付けます。</p>
--	---

※具体的なプログラム(記入しづらいときは別紙でも可。回数の上限は5回、時間はおおむね1～2時間としてください。)

回数	実施日 (曜日の指定)	各回のテーマ	講義 実技	時間 (h)	場 所 (どのような設備のある部屋が必要か等記入ください。)	具体的な内容・手法	協力者等 (協力者が必要な場合人数等を記入ください。)	必要物品名・金額 (毎回必要物品がある場合、具体的に1人当たりの品物名、金額を記入ください。)
1	10月第一金曜	設計の仕方	実技	2	総合文化センター304号室	完成形をイメージし、板取り図を作成。	1名程度	筆記用具
2	10月第三金曜	工具の安全な使い方	実技	2	〃	工具の安全な使い方、コツを学ぶ。	〃	のこぎり、かなづち、曲尺
3	11月第一金曜	加工の仕方	実技	2	〃	板取り図に従い、材料を切断。	〃	〃
4	11月第三金曜	組み立ての仕方	実技	2	〃	組み立てし、完成。	〃	〃